



所在地 〒552-0015 港区池島2丁目5番47号

TEL 06-6571-4354

FAX 06-6572-2489

校長名 小山 勝一(こやま まさかず)



## 学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和50年4月、大阪市立三先小学校及び大阪市立八幡屋小学校の内、池島地区の児童を収容し、大阪市立池島小学校として開校しました。開校当時は、1, 2, 3年9学級児童数343名でのスタートでした。同年6月3日に正門両側に開校記念植樹をしたことを記念し、この日を創立記念日と制定しました。

本校では、めざす子ども像を「しっかり学ぶ子」「しっかり運動する子」「なかよく助け合う子」と設定しています。今年度池島小学校では、このめざす子ども像を受けて、

いつも元気な子  
けんこうを大切に  
する子  
じぶんや仲間を大切に  
する子  
まなびを大切に  
する子



1人1台端末の活用

※学びの個別最適化を推進するため、1学期からデジタルドリル教材を導入して学習を進めています。

の育成に努めています。

今年度、本校は各学級12名～24名と少人数で、きめ細やかで一人一人にいていねいに対応できる教育を行っています。また、運動場が広く、のびのびと元気に体を動かし体力の向上に努めています。子ども達が地域の方々と交流する機会も多く、春には運動場でグラウンドゴルフ大会をし、子どもからお年寄りまで同じルールで楽しむことができます。夏には、盆踊り大会で太鼓に合わせて子どもも大人も楽しく踊ります。秋には、池島公園で地域をあげての大きな行事である「池島ふれあいまつり」が開かれ、子ども達もステージで学習の成果を披露します。地域と共同した防災訓練では、高所への避難訓練を行います。

令和元年度から、校内でプログラミング教育の充実を図っています。大学や民間企業とコラボしながら1人1台端末やロボットを活用し、子どもの情報活用能力や論理的な思考力を高める取組を行っています。

## 運営に関する計画

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

#### 【学校の年度目標】

- たてわり班活動・仲間づくり・自他のよさの尊重を一層推進する。校内調査で、「学校は仲間がいて、いじめをゆるさない安心できる場所だと思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 校内調査で、「自分には1つ以上よいところがある」と回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 【本校の具体的な取組】

- ①「チャイムの合図を守る」「廊下階段右側歩行」などの学校のきまりに基づく強調週間を年に2回設定する。
- ②児童会が中心となってたてわり班を生かす集会を行うことで、児童が他学年とも交流、活動し、仲間づくりをすすめる。(いけっこまつり・たてわり集会・なかよしタイム)
- ③「ええとこみつけ」の活動を各学級で取り組む。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 【学校の年度目標】

- 校内調査で、「授業は工夫されていて、わかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 校内調査で、「いろいろな運動に挑戦した」と回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 【本校の具体的な取組】

- ①言語力育成のための基礎となる読書、漢字の読み書きをする朝学習の時間を設定する。
- ②習熟度別少人数授業や個に応じた指導やICT活用、池島タイムの実施を通して、課題解決に向けて最後まで取り組む姿勢とわかる喜びを味わわせ、学習意欲の喚起と定着を図る。
- ③「なわとび月間」や「かけ足月間」を設定し、外で体を動かす習慣化を図る。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団と比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団と比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を令和元年度より2ポイント向上させる。

### ●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

平均正答率 (%)	
国語	算数
43	50

#### 〈学校での学びの充実〉

- 授業場面では、主体的・対話的で深い学びを求めて、児童の言語活動の充実を図る。あわせてICT活用による視覚・聴覚支援の研究を一層推進する。
- 国語科の研究に力を入れ、読解力・表現力の育成を図る。
- 平成29年度から取り組む算数科「計算領域」重点項目の設定と繰り返し練習を継続発展させる。

- 基礎基本の徹底をめざした「池島タイム等での組織的な補充学習」「漢字検定への挑戦」等に組織的に取り組む。
- 児童の情報活用能力・論理的思考力を高めるためにプログラミング学習の実践を進める。
- 個別最適化の学びの保障のため、デジタルドリルを活用する。

#### 〈家庭での学びの充実〉

- 家庭との双方向通信の充実を図り、児童の学びの保障を図る。
- 「家庭でのゲームやテレビ視聴等」基本的な生活習慣や学習環境に関わる保護者への啓発を行う。

### ●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	16.64	21.25	30.25	39.88	48.00	9.14	146.56	28.11	51.50
女子	16.50	16.88	35.76	37.13	36.87	9.69	133.56	17.53	54.54

#### ●これまでの取組の成果

- 男女ともに、「握力」「ソフトボール投げ」の結果は全国平均を大きく上回っている。
- 外遊びの奨励を続けてきた。その一環として「なわとび月間」や「かけ足月間」も計画的に実施し、運動場に鉄棒技カードやなわとび技カードを掲示した。様々な運動に対する意欲を向上させるための取組を進めているので、「いろいろな運動している。」と自己評価する児童の割合は令和2年度に前期86%後期83%と高い結果を示している。すなわち、運動を肯定的にとらえる児童や運動を習慣化する児童が増加しているのとらえている。

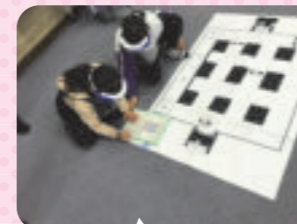
#### ●今後の課題

- 重点種目を「長座体前屈」とし全校児童の柔軟性の向上を図る。(児童が目標を設定できるようにする。)
- 普段の体育授業の工夫と改善を図る。(問題解決型学習を更に進める。)
- 遊び方紹介カードを随時更新し、全校に周知し各学級ごとに取り組む。
- 仲間づくりから体力向上につながるように、毎時間の体育授業に体づくり運動を組み込む。

## 主な行事や体験的な活動等



プログラミング教育 (全学年で実践)



車いす・高齢者  
疑似体験学習 (6月)



地域主催のグラウンドゴルフ大会 (6月)



### 文化芸術体験



能楽鑑賞会



関西フィルハーモニー  
管弦楽団鑑賞会



地域の最大の行事「池島ふれあいまつり」への参加 (11月)



地域と連携した避難訓練で  
非常食の試食 (11月)



近隣幼・保・小・中学校との交流  
3校小中合同駅伝大会参加 (2月)

### その他の行事・学習

- 地域の高齢者へのお手紙作成 (9月)
  - ふれあい清掃 (10月)
  - 池島学校1日体験 (12月)
  - 漢字検定の準備 (12月)
  - なわとび週間 (4月、12月)
  - かけあし週間 (1月)
  - 盲導犬体験 (2月)
- 池島小学校ホームページもご覧ください。